

森林組合報

第 97 号

《編集・発行》

鹿角森林組合

鹿角市花輪字合野 18-3

☎ (0186) 23-3315

FAX(0186) 23-3475

印刷/こさか地域生活
支援センター印刷

鹿角森林組合役員、総代、改選

〔四地区とも無投票当選〕

任期満了に伴う役員（理事・監事）総代選は、七月三十日で立候補届け出の受け付けが締め切られその結果、役員選・総代選とも、全地区、無投票当選となりました。

新役員、総代の任期は、九月一日から三年間。

新役員人事紹介

〔理事十二名、監事三名〕

平成二十五年八月二十八日（水）午前十時当森林組合において、正副組合長、代表監事、各部門理事委員、理事、監事の順位の互選会がおこなわれ、平成二十五年九月二日（月）午後四時理事会において正式決定されたので紹介します。

尚、次の方々が勇退されました。

理 事 戸田 公雄 村木 和夫

齋藤 武一 中村 真人

代表監事 千田 俊夫

長い間、ご苦労様でした。



理 事 成田 尚平



理 事 成田 一三



理 事 栗山 一彦



副組合長 宮野 和秀



代表理事組合長 関 重征



理 事 安保 誠一郎



理 事 杉原 仁志



理 事 齋藤 長助



理 事 奈良 誠市



理 事 齋藤 策徳



監 事 阿部 豊



監 事 関 和也



代表監事 北村 義孝



学識経験理事 沢田 督美



理 事 秋本 隆悦

総代人事紹介

高松山阿阿阿阿阿阿大島洪阿島大阿阿齊阿島戸栗高阿青桜栗栗栗青島山島
 橋岡口部部部部部部畑山谷部山畑部部藤部山田山畑部澤田山山山澤山口山
 正克正甲正隆隆喜文 敏 秀東 悦春正章文展 恵貞良徳康好正孝常悦貞
 康範志郎明三雄久美勇雄悦昇廣美敏男吾珍茂晃造久夫則廣一志雄由夫

【八幡平地区】
(七十四名)

石石石藤阿島阿島齊金阿海海海神齊浅児安田安成黒安島齊齊安島阿阿阿高成阿
 坂坂坂原部山部山藤沢部沼沼沼田藤石玉保中保田澤倍山藤藤倍山部部部畑田部
 正満和義 隆幹文光 信寛光良光平幸康悦 隆正 桂末良 勝立義 浩良
 次芳彦孝勲薫聖悦夫好雄登義悦雄三廣治勇明郎実三克巖三治行正栄巳一直二一

兔相相海相田田三奥吉村島田中梅戸島三中山泉
 澤馬馬沼川中中ヶ田村村田山村村戸館山ヶ西崎沢
 和之信市次 栄良 勝誠 好光保忠金日友
 則一博雄男博一 健實一裕学彌市夫幸裕男康優

【花輪地区】
(五十三名)

【尾去沢地区】
(四名)

川奈渡加 似川似戸阿佐
 上良部賀鳥鳥鳥館部藤
 仁志寛宏 明勝徳夷則文雄

湯 奈 関 豊 倍 兔 兔 千 米 児 木 小 小 浅 木 山 金 木 金 木 木 木 金 佐 柳 餅 金 村 兔 村 村 橋 村
 瀬 良 田 賞 沢 沢 葉 田 玉 村 館 館 水 村 本 澤 村 沢 村 村 村 澤 藤 沢 田 澤 木 澤 木 木 場 木
 正 千 綱 長 元 正 幸 昭 新 政 栄 具 一 光 幸 輝 修 照 忠 喜 修 照 善 和 伴 光 義 福 義 正
 一 代 治 勝 郎 悦 文 夫 三 一 芳 一 視 彦 哲 郎 視 一 茂 美 男 博 光 三 雄 一 夫 行 國 一 雄 則 道

【十和田地区】
(五十名)

小 齊 田 田 杉 津 勝 高 加 成 加 加 成 加 成 大 黒 黒 大 谷 平 中 中 宮 宮 成 成 湯 平 瀬 谷 湯 湯 湯 中
 笠 藤 村 村 本 島 田 橋 賀 田 賀 賀 田 賀 田 西 沢 沢 森 地 塚 村 村 沢 沢 田 田 瀬 塚 川 地 瀬 瀬 瀬 村
 政 中 富 定 堅 雅 幸 益 芳 定 洋 好 正 良 儀 幸 佐 与 忠 武 庄 昭 幸 太 勇 重 勇 英 有
 嘉 郎 男 男 一 蔵 尚 司 造 一 治 郎 登 博 広 聡 勝 一 一 勲 見 樹 郎 孝 雄 司 満 七 男 一 身 一 吉 克 治

池 杉 中 中 中 中 中 古 木 澤 澤 昆 沢 上 沢 杉 小 沢 澤
 田 原 村 村 村 村 村 澤 村 田 田 田 田 田 本 館 田 田
 武 健 貞 吉 鉄 秀 勝 孝 次 文 一 利 昌 康 清 利
 範 仁 一 蔵 夫 司 信 雄 功 造 雄 郎 勤 郎 幸 利 弘 一 夫

【小坂地区】
(十九名)

高 米 村 村 安 村 田 石 石 青 石 田 沢 菊
 橋 沢 木 木 保 木 子 川 川 山 川 口 田 沢
 一 美 俊 竹 美 雄 貞 善 安 康 良
 正 巳 進 一 志 之 康 則 衛 磨 久 治 謙 哲

森林経営計画と作業道の改良について

8月9日発生した豪雨により当組合管内の森林・作業道がかつてない甚大な被害を受けました。当組合で管内の巡回をしておりますが、道路損壊が多く発生しているため被害の状況を把握できておりません。被災された組合員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

昨年まで森林整備地域活動支援交付金で対応してきた作業路改良事業は、今年度より森林経営計画作成を条件とした国庫補助金に移行し、来年度に、被災した作業道の修復をこの事業で予定しておりましたが、突然来年度は廃止する通達がありました。国では今後従来の交付金制度に戻すことも含めて検討中とのことです。したがって現時点では、森林組合が作業道を改良する補助制度はありません。又下記の写真のような損壊が激しい作業道の改良は、交付金だけでは修復が困難なため今後市・町・県と協議をまいります。

森林経営計画の作成は昨年度より実施しておりますが、山林調査、集約化に時間を要するため、間伐事業を実施する地区より順次進めてまいりますのでよろしくお願ひします。



作業道の流失



作業道の路肩崩壊



山林と作業道の崩壊

木材市況のお知らせ

鹿角木材流通センター8月入札結果

スギ直材（40年生間伐材）

長さ	径級	平均単価	備考
4.00m	10cm～14cm	—	
3.65m	16cm～22cm	7,800円/m ³ (石当2,160円)	
3.65m	24cm～28cm	11,300円/m ³ (石当3,140円)	

注1) 曲り材、ガニ腐れ材は直材の60%です。

注2) 上記価格より手数料が差し引かれます。

(共販手数料5%・はい積料m³当り600円)

補助金を使って、山林の手入れを！

森林環境保全整備事業（造林補助事業） 1HA当たり 担当：事業課 利用係
(H25年9月現在)

作業区分	事業費	施業計画	概算補助金	自己負担金	事業内容
新植	1,155,000	有り	690,000	465,000	スギ・マツ・広葉樹の新植 2100本〜とする。
除伐A	155,000	有り	110,000	45,000	16年生～25年生迄補助対象とする。伐採率20%以上とする。(26年生以上でも伐採対象木が18cm以下であると対象となる)
除伐B	137,000	有り	82,000	55,000	柴類の刈払い及び雑木、不良木を伐採する事業で11年生～20年生迄補助対象とする。広葉樹林は60年生迄対象とする。
枝打ち	190,000	有り	140,000	50,000	原則として11年生～30年生まで補助対象とする。

※森林施業計画・森林経営計画を作成している森林が対象です。

森林国営保険について

- 造林補助事業における新植、間伐事業につきましては、森林国営保険への加入をお願いしております。

森林の伐採について！

- 森林において、立木を伐採する際には、伐採する30～90日前までに届け出が必要な場合があります。詳しくは、当組合までお問い合わせ下さい。

購買係より

当組合では、スギ苗木、各種苗木、肥料等を販売しております。
注文はTEL又はFAXでも承ります。
詳しくは当組合までお問い合わせ下さい。

ご注文・お問い合わせ



鹿角森林組合
0186-23-3315

